

‘にこまる’ 8月生育状況について

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

○ 生育状況について

【幼穂形成期～穂ばらみ期まで】

気温は7月第1半旬以降、平年並み～やや高く推移した。

日照時間は7月第1、2半旬は少なく、以降は十分確保できていた。

7月全体をみると、気温もやや高く推移し、日照時間も確保できたことから生育は順調に進んでいる。

このことから、生育の進度は現在、平年並～やや早い（△1～3日程度）で推移している。

【現在の状況】

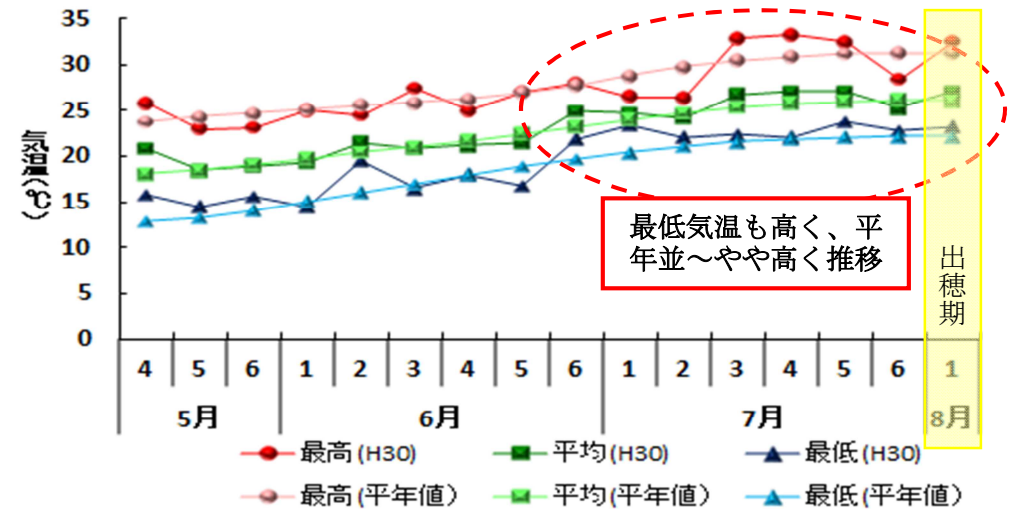
現在の生育ステージは、穂ばらみ期～乳熟期です。

7月上旬の日照不足により、各ほ場で稲がやや徒長となり、草丈は高い。気温は平年並み～高く推移し、8月10日～20日の間で出穂期を迎えることが予想されます。

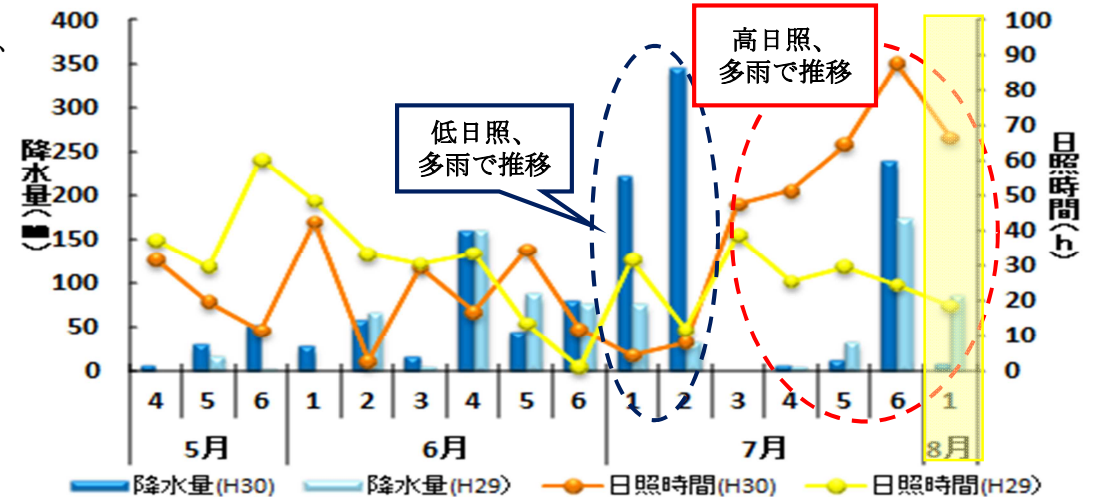
また、出穂期はおおよそ揃って迎えると予想される。

8月の気象においても、気温は高く推移し、日照時間も多い見込みとなっています。今後も気温が高く推移すると、ごま葉枯れ病の発生や、害虫の発生が懸念されます。

特に、今年も早生からカメムシ類の発生が多く（平年の1.4倍）、普通期でも発生が多いことが予想されるため、畦畔の草刈りなどカメムシの発生を抑えらるよう努めましょう。



【5月第4半旬～8月第1半旬の気温の推移】



【5月第4半旬～8月第1半旬の積算降水量、日照時間の推移】